

enocoのそうだん [eno so done!]

## 相談シート14 あえて市民を主役に考えるのではなく、職員自らが楽しく働けるイベントを

[トップ](#) >> [enocoのそうだん \[eno so done!\]](#) >> 相談シート14

### アドバイザー

日下 慶太 (広告代理店勤務 コピーライター/写真家/セルフ祭顧問)

1976年大阪生まれ大阪在住。ロシアでスパイ容疑で拘束、アフガニスタンでタリバーンと自転車を二人乗りなど、世界をフラフラとしながら広告代理店に入社。コピーライターとして勤務する傍ら、写真家、商店街を舞台とした奇祭「セルフ祭」主催者、UFOを呼ぶバンド「エンバーン」のリーダーとして活動している。商店街のユニークなポスターを制作し町おこしにつなげる『商店街ポスター展』の仕掛人。ツッコミたくなる風景ばかりを集めた『隙ある風景』日々更新中。 <http://keitata.blogspot.jp>



### 相談者

豊中市立蛸池図書館、豊中市立庄内図書館

### 相談分野 (キーワード)

地域活性

市民協働

観光

まちづくり

文化

広報・PR

その他

## 主な相談内容

市の中長期計画では、図書カードの登録率を現在の40%から60%に上げることを目指している。PRと共に図書館自身も豊中のブランドとして市民に認識されるよう、刷新したイメージを展開したい。

### Q 1

ロゴとキャッチコピーを新しくつくろうという案があるのですが、自分たちで考えたり市民コンペで募集することを考えています。やはりプロに依頼すべきでしょうか。

### A 1

プロに依頼したほうが良いです。プロに依頼するとクオリティが担保されます。自分でもつくれますが労力がかかります。またロゴだけつくっても駄目で、効果的な運用にはルールを設定したり、展開方法を同時に考える必要があります。

### Q 2

現状、webでの告知方法はHPのみです。最近、他の図書館ではTwitterなどSNSを上手く活用していますが、決裁の必要性など、内部のルールで使いづらいのが現状です。またHPのデザインについても外部の企業を通して更新しているので、デザインや内容の変更など柔軟な対応が困難です。

### A 2

まずは情報の中身を面白くすることが重要です。そうすると自然と情報が伝わるものです。みなさんが楽しんでイベントを実施している、その様子を発信することから始めてみると良いです。HPを新しくつくってデザインをカッコよくしても、メリットとデメリットがあります。まずHPの弱点は柔軟性がないこと。しかしアーカイブとして残るといったメリットがあります。逆にSNS (Twitter、Facebook) などは即効性、今すぐ伝えたい情報をずっと発信できます。現状を打開するには、デザインよりも情報の即効性の方が重要でしょう。

### Q3

豊中の図書館というブランドを、どのようにつくっていけばよいでしょうか。

### A3

市内の図書館を一つに統合させることは出来ないでしょうから、複数ある図書館のイメージについてそれぞれ特徴づけを行い、小さいからこそ出来ることを考えましょう。館ごとの「分かりやすい」目標を設定することがポイントです。その目標にそって専門職の職員だからこそ行える事業を考えましょう。たとえば「有名人の本棚」「職員による本のポップ」「本の入門編、おすすめ制度」など。

広報においては、シンプルを徹底すること。ニュースは何か一つに絞ること。大事なことの優先順位、目標を決めておくこと。地域の様子とニーズをリサーチするために、フリーペーパーをつくるのもおすすめです。

すべてに共通することは、市民を主役に考えるのではなく、図書館職員が主役になって、職員自身が面白く、楽しく働けるイベント、場所、環境づくりを最重要課題にしていくことが大事だと思います。

## 相談者の声

当館はベースとしての図書館業務はしっかりしているとしても、現在利用されていない一般市民が興味を持つような、ニュース性のあること・おもしろいこと、を発信していくということについては、確かに弱いです。職員のモチベーションもあがる形で取り組んでいけたらと思います。まずは、図書館の分析PRチームでアドバイスいただいたことを共有し、検討します。

## その後の動き

空間・印刷物・サイン・掲示物などの統一感や洗練されたイメージ、また統一したカラーやロゴ、館内の空間デザインの工夫などを1番に伺いましたが、「それについてはまだ時期尚早、内容の魅力とその発信」というソフト面の充実についてアドバイスをいただき、担当チームを中心にそちらを軸に考えるようにしています。

日下さんのおっしゃった「有名人の棚」にあたるものは、市の広報広聴課と連携し、市の広報誌に「私の本棚」として市にゆかりの著名人による本の紹介を連載、その本を図書館にも巡回展示する取り組みとして2015年4月から実現しています。

サイトポリシー・プライバシーポリシー	> enocolについて	> お知らせ・プレスリリース	ツイート	^
指定管理者	> 事業紹介	> メルマガ登録		
バナー広告募集	> フロアガイド	> ニュースレター		
	> レンタルスペース	> お問合せ		
		> アクセス		